

# 大気汚染物質排出量 調査票作成の手引き

## 目次

- 1 大気汚染物質排出量調査の概要
- 2 調査票の作成方法
- 3 調査票の提出方法・提出先
- 4 施設一覧表の記載事項を変更する場合

入力例 1 非常用施設（使用実績のなかった施設）

入力例 2 常用施設（使用実績のあった施設）

別表 燃原料記号、名称及び使用量の単位一覧

参考 年度間乾き排出ガス量の計算方法

参考 ばい煙の年度間排出量の計算方法

令和 8 年 5 月

横浜市 みどり環境局

大気・音環境課 大気担当

# 1 大気汚染物質排出量調査の概要

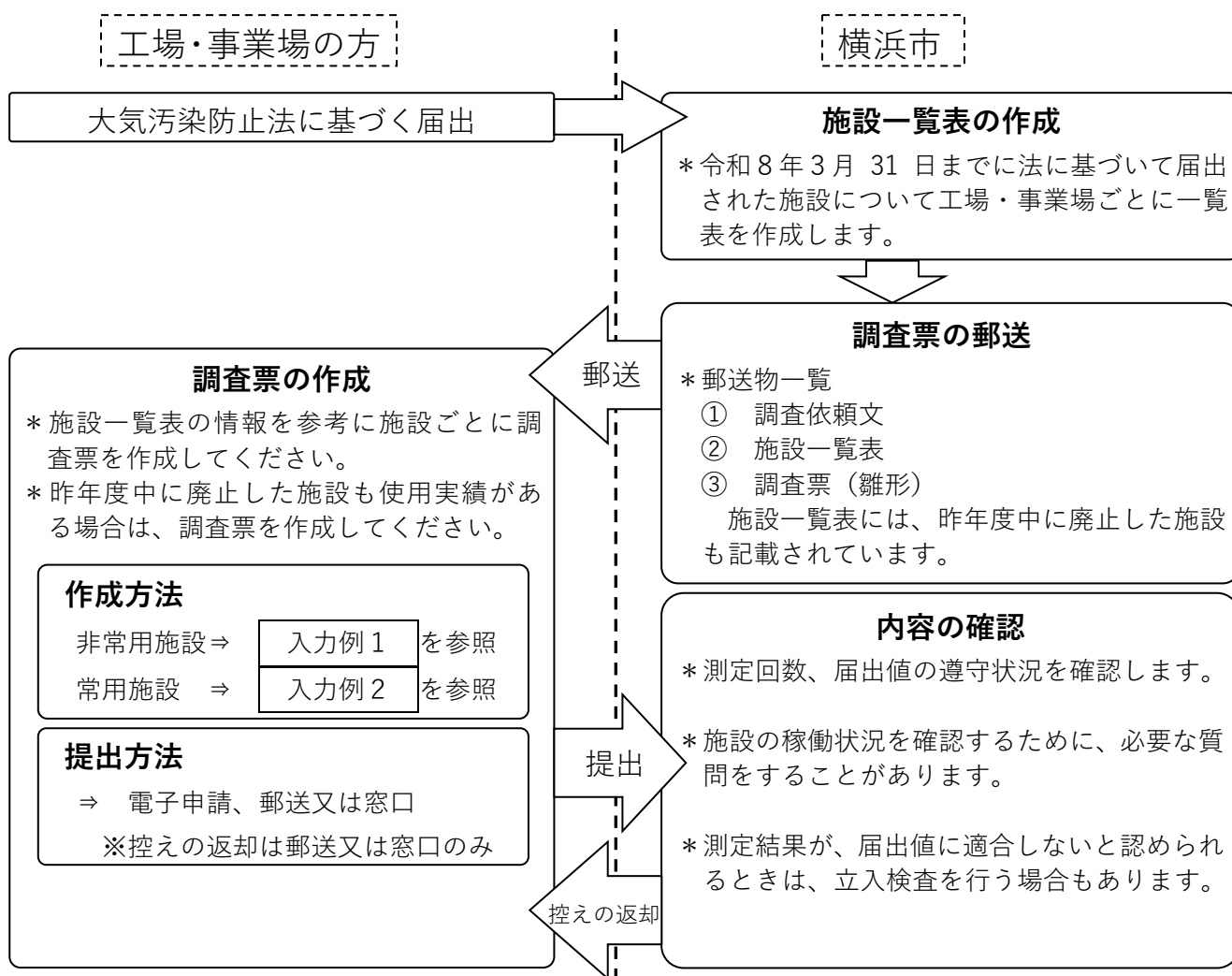
## (1) 調査の目的

工場や事業場に設置された「ばい煙発生施設」(以下「施設」といいます。)は、「大気汚染防止法」(以下「法」といいます。)や「横浜市生活環境の保全等に関する条例」(以下「条例」といいます。)に基づくばい煙測定を行うことが義務づけられています。

横浜市では、法・条例に基づく測定回数と規制基準の遵守状況を確認することを目的に、法に基づく届出をされた工場や事業場の方に、「大気汚染物質排出量調査票」(以下「調査票」といいます。)のご提出をお願いしています。

なお、本調査結果は、環境行政の基礎資料とするため、国や県に情報提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## (2) 調査の流れ



## 2 調査票の作成方法

調査票を作成する際には、「らくらく調査票」を使用してください。

らくらく調査票は横浜市のウェブページで公開していますので、ダウンロードして使用してください。

横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の事業所及び施設に係る情報等の必要事項を入力し、施設ごとに調査票を作成してください。

ばい煙の測定結果、燃料使用量等を入力するだけで、調査票に必要な計算が自動で行われます。

「らくらく調査票の使い方」については、

非常用施設（使用実績のなかった施設）は **入力例 1** をご覧ください。

常用施設（使用実績のあった施設）は **入力例 2** をご覧ください。

※よくある質問について、ウェブページに QA 集を公開しています。入力方法等について、ご不明な点等がございましたら、お問合せの前にご確認をお願いします。

## 3 調査票の提出方法・提出先

### (1) 電子申請での提出

らくらく調査票で作成した調査票（xlsx 形式に限る。）を横浜市電子申請・届出システムを使って提出してください。調査票の内容に不備・不足がないことを確認後、受理となります。電子申請の場合は控えの返却はありません。

#### 横浜市電子申請・届出システム

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/portal/home>

手続き一覧（事業者向け）からキーワード検索してください。

手続き名 【大気汚染】令和 8 年度大気汚染物質排出量調査

## (2) 郵送での提出

調査票の記載内容に不備・不足がないことを確認後、郵送してください。なお、提出は1部で構いません。控えが必要な場合は、調査票2部と返信用封筒（返信用切手を貼って返信先を記載したもの。）を同封の上、郵送してください。受付印を押印後、1部を返信します。

郵送先 | 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10  
みどり環境局 大気・音環境課 大気担当 宛  
電話 | 045-671-3843

※受付までに日数を要する場合があります。

※調査票の内容について確認する場合がありますので、調査票の記載担当者を必ず記載してください。

## (3) 窓口での提出

調査票の記載内容に不備・不足がないことを窓口で確認後、提出となります。なお、提出は、1部で構いません。控えが必要な場合は、窓口で2部お持ちください。受付印を押印後、その場で1部をお返しします。

受付場所 | みどり環境局 大気・音環境課 大気担当  
横浜市庁舎 27階南側（緑）（横浜市中区本町6丁目50-10）

受付時間 | 月曜日～金曜日  
（土日祝日を除く）8:45～17:00

電話 | 045-671-3843



## 4 施設一覧表の記載事項を変更する場合

施設一覧表は、各事業者からの法に基づく届出内容から作成しています。

施設一覧表の記載事項（工場・事業場の名称、所在地及び施設の設置・廃止等）が現状と異なっている場合は、法に基づく届出手続きが必要な場合があります。

### （1）届出が必要な場合・届出をする時期

届出が必要な場合	届出書名称	届出時期
ばい煙発生施設の設置	ばい煙発生施設設置届出書	工事着工の 60日前まで
ばい煙発生施設の構造変更、 使用方法変更 ばい煙の処理方法の変更	ばい煙発生施設変更届出書	
法人名称の変更、住所の変更、 代表者の変更	氏名等変更届出書	事由発生後 30日以内
工場・事業場の名称変更、 住所表記の変更		
ばい煙発生施設の譲り受け、 借り受け	承継届出書	
法人の相続、合併、分割		
ばい煙発生施設の廃止 (一部廃止も含む)	使用廃止届出書	

### （2）届出様式・提出部数

届出様式は、ウェブページからダウンロードできますので、必要事項を記載して提出してください。提出部数は正副2部です。

ばい煙発生施設に関する手続き - 横浜市

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/kiseishido/akushu/taikihaien/taikipan.html>

また、ばい煙発生施設の種類によっては、「横浜市生活環境の保全等に関する条例」の許可申請等が必要な場合がありますので、ウェブページをご確認ください。

### **(3) 電気事業法等に係る発電機等（常用・非常用）の届出**

発電機に係る事項が現状と異なる場合は、経済産業省 関東東北産業保安監督部 電力安全課へ届出が必要です。

電話：048-600-0388（自家用係）、048-600-0391（発電係）

関東東北産業保安監督部 - 経済産業省

<https://www.safety-kanto.meti.go.jp/>

## 入力例1 非常用施設（使用実績のなかった施設）

らくらく調査票をダウンロードして、必要事項を入力後、ご提出ください。

※調査票は、1施設につき1枚作成してください。

※複数の施設の調査票を作成する場合は、シートをコピーして作成してください。

※入力した内容が反映されない場合は、F9を押して再計算を実行するか、エクセルの「計算方法の設定」を「自動」に変更してください。

# 入力画面

① 送付番号  /  /

② 記載担当者

所属	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>

③ 工場・事業場の概要

工場・事業場名称	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
所在地	<input type="text"/>
大防法番号	<input type="text"/>

④ 施設の概要

施設番号	施設種別 (4桁の数字)	施設名称	届出施設名称	施設設置年月(和暦)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑤ 使用実績  有り  無し 1

⑥ 月間燃料使用量

①主燃料の種類		②補助燃料1の種類		③補助燃料2の種類		④補助燃料3の種類	
燃料記号	燃料種類	燃料記号	燃料種類	燃料記号	燃料種類	燃料記号	燃料種類
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

月	①主燃料	②補助燃料1	③補助燃料2	④補助燃料3
4月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
9月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
11月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
12月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
1月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
合計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑦ 測定結果

年度間の測定回数 2 回

	測定日 年月日(西暦) (YYYYMMDD)	硫黄酸化物 濃度 (ppm)	窒素酸化物 濃度 (ppm)	ばいじん (g/m3N)	塩化水素 濃度 (mg/m3N)	アンモニア 濃度 (ppm)	酸素 濃度 (%)	水分 (%)	測定時の 乾き排出ガス量 (m3N/時)	測定時の 燃料使用量 (m3N・L・kg/時)
1回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑧ 備考

①

送付番号  /

→ 横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の「送付番号」を入力してください。

送付番号  /

→ 分子に調査票を作成する施設の No を、分母に施設の総数を入力してください。

施設一覧表（例）の場合

送付番号に 9999 と入力

No3 の調査票を作成する場合

分子に 3 分母に 3 と入力 (3/3)

施設一覧表（例）

送付番号	9999					
工場・事業場名称	株式会社●●●● 横浜工場					
所在地	〒231-0005 中区区本町6-50-10					
大防法番号	01K-999					
<p>施設一覧表には、年度途中で廃止届が提出された施設も記載しています。          前年度中の使用実績が有る廃止施設については、燃原料使用量、年度間乾き排出ガス量等を記入して下さい。          使用実績が無い廃止施設については、年度間(稼働)時間にゼロを記入して下さい。</p>						
株式会社●●●● 横浜工場 施設一覧表						
No	施設 番号	施設 種別	施設名称	届出施設名称	設置年月	燃料記号
1	002	0103	ボイラ	小型貫流ボイラ	平成13年04月	①31
2	044	3101	ガスエンジン（常用）	ガスエンジン	平成19年04月	①31 ②14
3	067	3002	ディーゼル（非常用）	非常用発電装置	平成25年12月	①14

②

記載担当者

所属	
電話番号	
フリガナ	
氏名	

調査票を作成した方の所属、電話番号、氏名（フリガナ）を入力してください。

当課からの問合せの際に使います。

管理会社の方でも構いません。

③

**工場・事業場の概要**

工場・事業場名称			
郵便番号			
所在地			
大防法番号			

横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の「工場・事業場名称」、「郵便番号」、「所在地」、「大防法番号」を入力してください。

施設一覧表（例）の場合

工場・事業場名称に 株式会社●●● 横浜工場 と入力  
 郵便番号に 231-0005 と入力  
 所在地に 中区本町6-50-10 と入力  
 大防法番号に 01K-999 と入力

**施設一覧表（例）**

送付番号	9999			
工場・事業場名称	株式会社●●● 横浜工場			
所在地	〒231-0005 中区区本町6-50-10			
大防法番号	01K-999			

施設一覧表には、年度途中で廃止届が提出された施設も記載しています。  
 前年度中の使用実績が有る廃止施設については、燃原料使用量、年度間乾き排出ガス量等を記入して下さい。  
 使用実績が無い廃止施設については、年度間(稼働)時間にゼロを記入して下さい。

**株式会社●●● 横浜工場 施設一覧表**

No	施設 番号	施設 種別	施設名称	届出施設名称	設置年月	燃料記号
1	002	0103	ボイラ	小型貫流ボイラ	平成13年04月	①31
2	044	3101	ガスエンジン（常用）	ガスエンジン	平成19年04月	①31 ②14
3	067	3002	ディーゼル（非常用）	非常用発電装置	平成25年12月	①14

④

施設の概要

施設番号	施設種別 (4桁の数字)	施設名称	届出施設名称	施設設置年月(和暦)

横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の「施設番号」、「施設種別」、「届出施設名称」、「施設設置年月」を入力してください。(施設種別に4桁の数字を入力すると施設名称は自動で表示されます。)

施設一覧表(例)の場合

No3の調査票を作成する場合

施設番号に 067 と入力  
 施設種別に 3002 と入力  
 届出施設名称に 非常用発電装置 と入力  
 施設設置年月に 平成25年12月 と入力

施設一覧表(例)

送付番号	9999					
工場・事業場名称	株式会社●●●● 横浜工場					
所在地	〒231-0005 中区区本町6-50-10					
大防法番号	01K-999					
施設一覧表には、年度途中で廃止届が提出された施設も記載しています。 前年度中の使用実績が有る廃止施設については、燃原料使用量、年度間乾き排出ガス量等を記入して下さい。 使用実績が無い廃止施設については、年度間(稼働)時間にゼロを記入して下さい。						
<b>株式会社●●●● 横浜工場 施設一覧表</b>						
No	施設番号	施設種別	施設名称	届出施設名称	設置年月	燃料記号
1	002	0103	ボイラ	小型貫流ボイラ	平成13年04月	①31
2	044	3101	ガスエンジン(常用)	ガスエンジン	平成19年04月	①31 ②14
3	067	3002	ディーゼル(非常用)	非常用発電装置	平成25年12月	①14

⑤

使用実績

有り

無し

2

非常用施設（使用実績のなかった施設）の場合は、使用実績 無し をクリックしてください。

⑥

月間燃料使用量

①主燃料の種類

②補助燃料1の種類

③補助燃料2の種類

④補助燃料3の種類

燃料記号		燃料記号		燃料記号		燃料記号	
燃料種類		燃料種類		燃料種類		燃料種類	

横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の「燃料記号」を入力してください。

燃料記号が2つ以上記載されている場合は、①が主燃料、②が補助燃料1、③が補助燃料2、④が補助燃料3の燃料記号になります。

施設一覧表（例）の場合

### No3の調査票を作成する場合

①主燃料の種類 の 燃料記号に 14 と入力

#### 施設一覧表（例）

送付番号	9999					
工場・事業場名称	株式会社●●●● 横浜工場					
所在地	〒231-0005 中区区本町6-50-10					
大防法番号	01K-999					
<p>施設一覧表には、年度途中で廃止届が提出された施設も記載しています。          前年度中の使用実績が有る廃止施設については、燃原料使用量、年度間乾き排出ガス量等を記入して下さい。          使用実績が無い廃止施設については、年度間(稼働)時間にゼロを記入して下さい。</p>						
株式会社●●●● 横浜工場 施設一覧表						
No	施設番号	施設種別	施設名称	届出施設名称	設置年月	燃料記号
1	002	0103	ボイラ	小型貫流ボイラ	平成13年04月	①31
2	044	3101	ガスエンジン（常用）	ガスエンジン	平成19年04月	①31 ②14
3	067	3002	ディーゼル（非常用）	非常用発電装置	平成25年12月	①14

## 入力例2 常用施設（使用実績があった施設）

らくらく調査票をダウンロードして、必要事項を入力後、ご提出ください。

※調査票は、1施設につき1枚作成してください。

※複数の施設の調査票を作成する場合は、シートをコピーして作成してください。

※入力した内容が反映されない場合は、F9を押して再計算を実行するか、エクセルの「計算方法の設定」を「自動」に変更してください。

# 入力画面

① 送付番号  /

② 記載担当者

所属	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>

③ 工場・事業場の概要

工場・事業場名称	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
所在地	<input type="text"/>
大防法番号	<input type="text"/>

④ 施設の概要

施設番号	施設種別 (4桁の数字)	施設名称	届出施設名称	施設設置年月(和暦)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑤ 使用実績  有り  無し 1

⑥ 月間燃料使用量

①主燃料の種類		②補助燃料1の種類		③補助燃料2の種類		④補助燃料3の種類	
燃料記号	燃料種類	燃料記号	燃料種類	燃料記号	燃料種類	燃料記号	燃料種類
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑦

月	①主燃料	②補助燃料1	③補助燃料2	④補助燃料3
4月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
9月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
11月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
12月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
1月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
合計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑧ 測定結果

年度間の測定回数 2 回

	測定日	硫黄酸化物	窒素酸化物	ばいじん	塩化水素	アンモニア	酸素	水分	測定時の 乾き排出ガス量 (m3N/時)	測定時の 燃料使用量 (m3N・L・kg/時)
	年月日(西暦) (YYYYMMDD)	濃度 (ppm)	濃度 (ppm)	(g/m3N)	濃度 (mg/m3N)	濃度 (ppm)	濃度 (%)			
1回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6回目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑨ 備考

①

送付番号  /

→ 横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の「送付番号」を入力してください。

送付番号  /

→ 分子に調査票を作成する施設の No を、分母に施設の総数を入力してください。

施設一覧表（例）の場合

送付番号に 9999 と入力

No1 の調査票を作成する場合

分子に 1 分母に 3 と入力 (1/3)

No2 の調査票を作成する場合

分子に 2 分母に 3 と入力 (2/3)

施設一覧表（例）

送付番号	9999					
工場・事業場名称	株式会社●●●● 横浜工場					
所在地	〒231-0005 中区区本町6-50-10					
大防法番号	01K-999					
<p>施設一覧表には、年度途中で廃止届が提出された施設も記載しています。          前年度中の使用実績が有る廃止施設については、燃原料使用量、年度間乾き排出ガス量等を記入して下さい。          使用実績が無い廃止施設については、年度間(稼働)時間にゼロを記入して下さい。</p>						
<b>株式会社●●●● 横浜工場 施設一覧表</b>						
No	施設番号	施設種別	施設名称	届出施設名称	設置年月	燃料記号
1	002	0103	ボイラ	小型貫流ボイラ	平成13年04月	①31
2	044	3101	ガスエンジン（常用）	ガスエンジン	平成19年04月	①31 ②14
3	067	3002	ディーゼル（非常用）	非常用発電装置	平成25年12月	①14

②

記載担当者

所属	
電話番号	
フリガナ	
氏名	

調査票を作成した方の所属、電話番号、氏名（フリガナ）を入力してください。

当課からの問合せの際に使います。

記載担当者は管理会社の方でも構いません。

③

## 工場・事業場の概要

工場・事業場名称		
郵便番号		
所在地		
大防法番号		

横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の「工場・事業場名称」、「郵便番号」、「所在地」、「大防法番号」を入力してください。

## 施設一覧表（例）の場合

工場・事業場名称に 株式会社●●● 横浜工場 を入力  
 郵便番号に 231-0005 を入力  
 所在地に 中区本町6-50-10 を入力  
 大防法番号に 01K-999 を入力

## 施設一覧表（例）

送付番号	9999					
工場・事業場名称	株式会社●●● 横浜工場					
所在地	〒231-0005 中区区本町6-50-10					
大防法番号	01K-999					
<p>施設一覧表には、年度途中で廃止届が提出された施設も記載しています。          前年度中の使用実績が有る廃止施設については、燃原料使用量、年度間乾き排出ガス量等を記入して下さい。          使用実績が無い廃止施設については、年度間(稼働)時間にゼロを記入して下さい。</p>						
<b>株式会社●●● 横浜工場 施設一覧表</b>						
No	施設 番号	施設 種別	施設名称	届出施設名称	設置年月	燃料記号
1	002	0103	ボイラ	小型貫流ボイラ	平成13年04月	①31
2	044	3101	ガスエンジン（常用）	ガスエンジン	平成19年04月	①31 ②14
3	067	3002	ディーゼル（非常用）	非常用発電装置	平成25年12月	①14

④

施設の概要

施設番号	施設種別 (4桁の数字)	施設名称	届出施設名称	施設設置年月(和暦)

横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の「施設番号」、「施設種別」、「届出施設名称」、「施設設置年月」を入力してください。(施設種別に4桁の数字を入力すると施設名称は自動で表示されます。)

施設一覧表(例)の場合

No1の調査票を作成する場合

施設番号に 002 と入力  
 施設種別に 0103 と入力  
 届出施設名称に 小型貫流ボイラ と入力  
 施設設置年月に 平成13年4月 と入力

No2の調査票を作成する場合

施設番号に 044 と入力  
 施設種別に 3101 と入力  
 届出施設名称に ガスエンジン と入力  
 施設設置年月に 平成19年4月 と入力

施設一覧表(例)

送付番号	9999					
工場・事業場名称	株式会社●●●● 横浜工場					
所在地	〒231-0005 中区区本町6-50-10					
大防法番号	01K-999					
施設一覧表には、年度途中で廃止届が提出された施設も記載しています。 前年度中の使用実績が有る廃止施設については、燃原料使用量、年度間乾き排出ガス量等を記入して下さい。 使用実績が無い廃止施設については、年度間(稼働)時間にゼロを記入して下さい。						
<b>株式会社●●●● 横浜工場 施設一覧表</b>						
No	施設番号	施設種別	施設名称	届出施設名称	設置年月	燃料記号
1	002	0103	ボイラ	小型貫流ボイラ	平成13年04月	①31
2	044	3101	ガスエンジン(常用)	ガスエンジン	平成19年04月	①31 ②14
3	067	3002	ディーゼル(非常用)	非常用発電装置	平成25年12月	①14

⑤

使用実績

有り

無し

1

常用施設（使用実績があった施設）の場合は、使用実績 有り を選択してください。

⑥

月間燃料使用量

①主燃料の種類

②補助燃料1の種類

③補助燃料2の種類

④補助燃料3の種類

燃料記号		燃料記号		燃料記号		燃料記号	
燃料種類		燃料種類		燃料種類		燃料種類	

横浜市から送付した「施設一覧表」に記載の「燃料記号」を入力してください。

燃料記号が2つ以上記載されている場合は、①が主燃料、②が補助燃料1、

③が補助燃料2、④が補助燃料3の燃料記号になります。

施設一覧表（例）の場合

No1 の調査票を作成する場合

①主燃料の種類の場合 燃料記号に 31 と入力

No2 の調査票を作成する場合

①主燃料の種類の場合 燃料記号に 31 と入力

②補助燃料1の種類の場合 燃料記号に 14 と入力

施設一覧表（例）

送付番号	9999					
工場・事業場名称	株式会社●●●● 横浜工場					
所在地	〒231-0005 中区区本町6-50-10					
大防法番号	01K-999					
施設一覧表には、年度途中で廃止届が提出された施設も記載しています。 前年度中の使用実績が有る廃止施設については、燃原料使用量、年度間乾き排出ガス量等を記入して下さい。 使用実績が無い廃止施設については、年度間(稼働)時間にゼロを記入して下さい。						
株式会社●●●● 横浜工場 施設一覧表						
No	施設番号	施設種別	施設名称	届出施設名称	設置年月	燃料記号
1	002	0103	ボイラ	小型貫流ボイラ	平成13年04月	①31
2	044	3101	ガスエンジン（常用）	ガスエンジン	平成19年04月	①31 ②14
3	067	3002	ディーゼル（非常用）	非常用発電機	平成25年12月	①14

⑦

①主燃料

②補助燃料1

③補助燃料2

④補助燃料3

月	①主燃料	②補助燃料1	③補助燃料2	④補助燃料3
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
合計				

燃料の種類ごとに各月の使用量を入力してください。

合計は自動で計算されます。

**⑧**

**(1)** 結果  
年度間の測定回数  回

**(2)** 測定日  
年月日(西暦)  
(YYYYMMDD)

	硫黄酸化物 濃度 (ppm)	窒素酸化物 濃度 (ppm)	ばいじん (g/m3N)	塩化水素 濃度 (mg/m3N)	アンモニア 濃度 (ppm)	酸素 濃度 (%)	水分 (%)	測定時の 乾き排出ガス量 (m3N/時)	測定時の 燃料使用量 (m3N, L, kg/時)
1回目									
2回目									
3回目									
4回目									
5回目									
6回目									

**(3)**

**(4)**

**(1) 年度間の測定回数**

当該年度に行った測定の回数を入力してください。

初期値は「2」回となっています。2回以上測定を行った場合は、適宜修正してください。

※連続測定を行っている場合

測定回数に「6」回と入力してください。

**(2) 測定日**

西暦で年月日を入力してください。(YYYYMMDD形式 例 20250605)

※連続測定を行っている場合

測定日は、4/1 6/1 8/1 10/1 12/1 2/1 としてください。

**(3) ばい煙の測定結果 (硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじん、塩化水素、アンモニア)**

計量証明書に記載されている実測濃度 (\*) を入力してください。

(\*) 実測濃度とは 計量証明書に記載されている濃度のうち、「酸素換算値」「補正濃度」などの記載がない濃度のことです。

(例) 計量証明書の記載が次のとおりであったとき

窒素酸化物には 53 と入力

ばいじんには 0.005 と入力

計量の対象	単位	計量の結果
窒素酸化物	ppm	53
窒素酸化物 酸素換算値	ppm	47
ばいじん濃度	g/m <sup>3</sup>	0.005
ばいじん濃度 酸素換算値	g/m <sup>3</sup>	0.004

測定濃度が定量下限未満の場合は、定量下限値を入力するとともに、プルダウンメニューで「未満」を選択してください。

(例) ばいじんの実測値が 0.001g/m<sup>3</sup>N 未満の場合

「0.001」と入力して、プルダウンメニューから「未満」を選択する。

	測定日			硫黄酸化物	窒素酸化物	ばいじん	塩化水素	アンモニア
	年	月	日	濃度 (ppm)	濃度 (ppm)	(g/m <sup>3</sup> N)	濃度 (mg/m <sup>3</sup> N)	濃度 (ppm)
1回目								
2回目						0.001	未満	

※連続測定を行っている場合

ばいじん、アンモニア以外の測定濃度は2か月ごとの平均値の入力してください。

例) 4/1 → 4月と5月の平均値、 6/1 → 6月と7月の平均値、…

#### (4) 他の測定結果

計量証明書に記載されている「酸素濃度 (%)」、「排ガス水分量 (%)」、「乾き排ガス量 (m<sup>3</sup>N/h)」、「燃料使用量」を入力してください。

9

備考



調査票の内容を補足する事柄その他参考となることについて入力してください。

- ・年度間の測定回数が遵守できなかった場合  
遵守できなかった理由（施設故障、休止中、冬季のみの運転等）を入力してください。
- ・非常用発電機を点検以外に使用した場合  
稼働した状況を入力してください。
- ・年度間にばいじんの測定を行っていない場合  
直近の測定日と測定結果を入力してください。

全ての項目の入力が終わりましたら、**62 行目以降**に表示される調査票の内容が正しく表示されているかを確認してから、ご提出ください。

※入力した内容が調査票に表示されない場合は次に示す方法のいずれかをお試しください。

- ① F9 を押して再計算を実行
- ② エクセルの「計算方法の設定」を「自動」に変更

## 別表 燃原料記号、名称及び使用量の単位一覧

### 気体燃料 (m<sup>3</sup>N)

燃料 記号	名称
31	都市ガス (13A)
32	コークス炉ガス
33	高炉ガス
36	転炉ガス
37	オフガス
38	その他の気体燃料

### 気体燃料 (k g)

燃料 記号	名称
34	LNG
35	LPG

### 液体燃料 (L)

燃料 記号	名称
10	特 A 重油 (LSA)
11	A 重油
12	B 重油
13	C 重油 (LSC)
14	軽油
15	灯油
16	原油
18	ナフサ
19	その他の液体燃料

### 固体燃料 (k g)

燃料 記号	名称
21	一般炭
22	コークス
23	木材
24	木炭
25	その他の固体燃料

### 電気 (kWh)

燃料 記号	名称
61	電気

### その他 (k g)

燃料 記号	名称
51	パルプ廃液
53	一般廃棄物
54	産業廃棄物
55	その他の廃棄物

### 原料 (k g)

燃料 記号	名称
41	鉄・鉄鉱石
42	硫化鉱
43	非鉄金属鉱石
44	原料炭
45	原料コークス
46	その他の原料

- 38 その他の気体燃料の例  
天然ガス、炭田ガス、水素、アンモニア
- 22 コークスの例  
一般燃料用石炭コークス 半成コークス、コーライト、チャー
- 25 その他の固体燃料の例  
タール、アスファルト、ピッチ、グリース、パラフィン、石油コークス、練炭、豆炭、ポリマー、廃タイヤ
- 45 原料コークスの例  
還元用コークス

## 参考資料 年度間乾き排出ガス量の計算方法

### 年度間乾き排出ガス量

#### 計算①

当該年度に排出した排出ガス量（乾き）を次の式を用いて計算し、計算値を  $10^3 \text{ m}^3 \text{ N}$  単位で入力してください。

$$Q = G \times 1/n \times (q_1/y_1 + q_2/y_2 + \dots + q_n/y_n)$$

Q：年度間乾き排出ガス量

G：年度間燃原料使用量 ⇒ ②月間燃原料使用量の合計値

n：全測定回数

$q_k$ ：全測定回 n 回目のうち k 回目に測定したときの排出ガス量（乾き）

$y_k$ ：全測定回数 n 回目のうち k 回目に排出ガス量（乾き）を測定したときの燃原料使用量

#### 計算例

当該年度に 2 回測定した場合（燃原料として気体燃料を使用）

・年度間燃原料使用量：  $38,410 \text{ m}^3 \text{ N}$

項目	1 回目	2 回目
排出ガス量（乾き）	$804 \text{ m}^3 \text{ N/h}$	$775 \text{ m}^3 \text{ N/h}$
燃料使用量	$60 \text{ m}^3 \text{ N/h}$	$57 \text{ m}^3 \text{ N/h}$

$$\begin{aligned} Q &= 38,410 \times 1/2 \times (804/60 + 775/57) \\ &= 38,410 \times 1/2 \times (13.4 + 13.6) \\ &= 518,535 \text{ (m}^3 \text{ N)} \end{aligned}$$

調査票には  $10^3 \text{ m}^3 \text{ N}$  単位で入力するので、

$$Q = 518,535 \text{ (m}^3 \text{ N)} \doteq 519 \times 10^3 \text{ (m}^3 \text{ N)}$$

調査票には、**年度間乾き排出ガス量 519 ( $10^3 \text{ m}^3 \text{ N}$ )** と入力。

#### 備考 1

煙突を 2 施設以上で共有しており、施設ごとに排出ガス量（乾き）を測定している場合は、該当施設ごとに上記の式を用いて計算してください。

次ページあり

備考 2

煙突を2以上の施設で共有していて、排出ガス量（乾き）を施設ごとに区別できない場合は、計算Bの式より求めた全体の排出ガス量（乾き） $Q$ を次式の例を参考に按分して記入してください。

排出ガス量を直接把握できない施設aの排出ガス量（ $Q_a$ ）は、

$$Q_a = Y_a / (Y_a + Y_b) \times Q$$

a以外の施設の排出ガス量（ $Q_b$ ）は、

$$Q_b = Q - Q_a$$

$Q_a$ ：施設aの年度間乾き排出ガス量

$Y_a$ ：施設aの月間燃原料使用量（合計）

$Q_b$ ：煙突を共有している施設a以外の施設の年度間乾き排出ガス量

$Y_b$ ：煙突を共有している施設a以外の施設の月間燃原料使用量（合計）

## 参考資料 ばい煙の年度間排出量の計算方法

ばい煙の年度間排出量																			
連続測定機等で把握している場合	当該年度で把握しているばい煙の排出量を、kg 単位で記入してください。																		
年度間乾き排出ガス量（計算 A で算出）とばい煙の測定結果から算出する方法	<p>当該年度に排出した排出ガス量（乾き）は、計算 B の式を用いて値を出し、さらに次の計算式を用いて算出してください。</p> <p>小数点第 1 以下は<u>切り上げ</u>してください。</p> <p><b><u>SO<sub>x</sub>（硫黄酸化物）(kg)</u></b>  <math display="block">Q \times \overline{SOx} \times 64 \div 22,400</math></p> <p><b><u>NO<sub>x</sub>（窒素酸化物）(kg)</u></b>  <math display="block">Q \times \overline{NOx} \times 46 \div 22,400</math></p> <p><b><u>ばいじん (kg)</u></b>  <math display="block">Q \times \overline{Dust}</math></p> <p>Q：年度間乾き排出ガス量（10<sup>3</sup> m<sup>3</sup> N）  <math>\overline{SOx}</math>：SOx 濃度（ppm）の測定結果の平均  <math>\overline{NOx}</math>：NOx 濃度（ppm）の測定結果の平均  <math>\overline{Dust}</math>：ばいじん濃度（g/m<sup>3</sup> N）の測定結果の平均</p> <p>当該年度に 2 回測定した場合（燃原料として気体燃料を使用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度間燃原料使用量：38,410 m<sup>3</sup> N</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">項目</th> <th style="width: 30%;">1 回目</th> <th style="width: 30%;">2 回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排出ガス量（乾き）</td> <td style="text-align: center;">804 m<sup>3</sup> N/h</td> <td style="text-align: center;">775 m<sup>3</sup> N/h</td> </tr> <tr> <td>燃料使用量</td> <td style="text-align: center;">60 m<sup>3</sup> N/h</td> <td style="text-align: center;">57 m<sup>3</sup> N/h</td> </tr> <tr> <td>実測 SO<sub>x</sub> 濃度</td> <td style="text-align: center;">10 ppm</td> <td style="text-align: center;">11 ppm</td> </tr> <tr> <td>実測 NO<sub>x</sub> 濃度</td> <td style="text-align: center;">25 ppm</td> <td style="text-align: center;">31 ppm</td> </tr> <tr> <td>実測ばいじん濃度</td> <td style="text-align: center;">0.001 g/m<sup>3</sup> N</td> <td style="text-align: center;">0.001 g/m<sup>3</sup> N</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算 B で算出した年度間乾き排出ガス量 <b><u>519 (10<sup>3</sup> m<sup>3</sup> N)</u></b></li> </ul> <p><b><u>SO<sub>x</sub>（硫黄酸化物）(kg)</u></b>  <math display="block">519 \times ((10 + 11) \div 2) \times 64 \div 22,400 = 15.5 \div \mathbf{16kg}</math></p> <p><b><u>NO<sub>x</sub>（窒素酸化物）(kg)</u></b>  <math display="block">519 \times ((25 + 31) \div 2) \times 46 \div 22,400 = 29.8 \div \mathbf{30kg}</math></p> <p><b><u>ばいじん (kg)</u></b>  <math display="block">519 \times ((0.001 + 0.001) \div 2) = 0.519 \div \mathbf{1 kg}</math></p>	項目	1 回目	2 回目	排出ガス量（乾き）	804 m <sup>3</sup> N/h	775 m <sup>3</sup> N/h	燃料使用量	60 m <sup>3</sup> N/h	57 m <sup>3</sup> N/h	実測 SO <sub>x</sub> 濃度	10 ppm	11 ppm	実測 NO <sub>x</sub> 濃度	25 ppm	31 ppm	実測ばいじん濃度	0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.001 g/m <sup>3</sup> N
項目	1 回目	2 回目																	
排出ガス量（乾き）	804 m <sup>3</sup> N/h	775 m <sup>3</sup> N/h																	
燃料使用量	60 m <sup>3</sup> N/h	57 m <sup>3</sup> N/h																	
実測 SO <sub>x</sub> 濃度	10 ppm	11 ppm																	
実測 NO <sub>x</sub> 濃度	25 ppm	31 ppm																	
実測ばいじん濃度	0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.001 g/m <sup>3</sup> N																	
計算例																			